



1 ときめく図書館 ~学びの意欲を喚起する空間の提供~

- (1) 本との出会いを演出し、賑わいの拠点となる空間づくり
  - ①図書館機能を活用し、多様な主体と連携して実施する賑わいの創出
    - ・県内の大学や団体に構成する「賑わいづくり企画・実行委員会(年2回)」の意見を取り入れたイベント等の実施
    - ・賑わい創出のため、季節毎(年4回)に図書館フェスタを開催
  - ②知的探求心を刺激し、来館のきっかけとなる企画の実施
    - ・社会情勢・時節を捉えたタイムリーな講座や企画展示の実施  
(「水害・土砂災害に備えよう」「山形県さくらんぼ栽培150周年」「SDGsワークショップ」等)
  - ③リニューアルした図書館の魅力を伝える企画展示やイベント等の継続的な開催
    - ・季節毎(年4回)に図書館フェスタを開催(再掲)
    - ・外部サイト(やまがた子育て応援サイト等)の活用による子どもとその家族をターゲットとしたイベント情報等の発信
    - ・「本の森通信」の発行(年2回)
  - ④遊学館内の施設や近接する施設との連携による生涯学習の拠点機能の充実
    - ・文翔館、教育資料館、洗心庵との4館合同企画展示の実施
    - ・「チェリアフェスティバル」等他イベントとの連携展示の実施
  - ⑤縣人文庫の展示の充実
    - ・活躍した県人の常設展示及び時宜に合わせた企画展示の実施
  - ⑥県立図書館職員の専門性と接遇力の向上
    - ・司書講習受講による司書資格取得の支援
    - ・外部講師による接遇研修の実施
- (2) 乳幼児から高齢者まで生涯にわたり利用できる図書館づくり
  - ①乳幼児期からの利用促進と読育の推進
    - ・「おはなし会」(東北文教大学、毎月1回)、「紙芝居のひろば」(山形紙芝居研究会、毎月1回)、「外国語の絵本を開いてみよう」(県国際交流員、年4回)等の開催
  - ②児童・生徒の利用促進
    - ・高校図書委員によるおすすめ本を自作POPとともに展示
  - ③ビジネス及びリカレント等の支援
    - ・県担当課・中小企業関連機関との連携展示の実施
  - ④県民の読書活動の推進
    - ・子ども読書週間や秋の読書週間等に合わせた企画展示
  - ⑤ユニバーサルデザインの視点に立ち、快適かつ安全安心に利用できるサービスの推進
    - ・読書バリアフリーの推進に向けた企画展示及びイベントの実施

2 たよれる図書館 ~県民を支える資料の収集・活用と県内図書館との連携強化~

- (1) 県民の暮らしや課題解決、調査研究を支援する蔵書づくり
  - ①「山形県に関する資料は県立図書館にある」ことを目指した郷土に関する資料の収集・保存とその効果的な活用
    - ・「資料収集方針」に基づき、本県居住者・出身者の著作物や本県に関する出版物等を優先的に選定
    - ・市町村図書館(室)との連携などにより情報を収集し、郷土出版物や行政刊行物、校史・社史についても積極的に収集
  - ②全世代の県民の学びと希望の実現を支援する資料の充実
    - ・市町村立図書館での収集が困難な高額資料、専門書、参考資料等の収集
    - ・探究型学習をはじめ学校の教育や活動で活用可能な蔵書や電子資料等を充実させるとともに、教員が参集する会議や学校訪問等を通じた利用の周知
  - ③身近な課題の解決を支援する資料とレファレンス(調査相談)の充実
    - ・迅速な課題解決・回答に向けて、図書や雑誌等に掲載された県関係の情報収集・採録の実施
  - ④安全安心に役立つ資料の収集保存と活用
    - ・近年の大規模な自然災害が発生している状況を踏まえた、関係資料の収集及び県の関係部署と連携した県民の防災意識を高める企画展示の実施
  - ⑤県内地方公共団体の政策決定や行政事務に必要な資料・情報の収集と提供
    - ・県の施策展開や社会的ニーズの充足に役立つ関係資料、辞書類、統計資料等の収集
- (2) 県内図書館全体のサービス充実に向けた県立図書館の役割の発揮
  - ①県立図書館の特性や役割を踏まえた県内図書館への支援の充実
    - ・各市町村・各校のニーズや課題に応じた、一括特別貸出及びセット貸出の利用推奨、セット貸出資料の内容見直し
  - ②県内図書館を支える職員等の研修の充実
    - ・山形県図書館研究大会の開催及び図書館職員専門研修の実施(年3回程度)
  - ③県内図書館との連携による重層的な図書館サービスの充実
    - ・県内図書館との連携による「山形県図書館大賞」の実施
  - ④ウェブ会議システム等の活用による新たな連携の推進
    - ・オンライン形式やハイブリッド形式による講座・イベントの開催
  - ⑤県外図書館等とのネットワークの推進
    - ・国立国会図書館長との懇談会、日本図書館協会主催全国図書館大会、全国公共図書館研究会等への参加

3 つながり・ひろがる図書館 ~デジタル化と連携協働によるサービスの充実~

- (1) インターネットを活用した利便性の向上とデジタル化の推進
  - ①アクティブラーニンググループを活用した情報受発信の強化
    - ・オンライン環境を備えたアクティブラーニンググループを連携イベント等に活用するとともに、探究型学習や生涯学習の成果発表等の場として供用
  - ②インターネットによる情報発信の更なる強化
    - ・インターネットを活用した情報発信の一つとして、講座の動画配信を実施(「紙芝居のひろば」「郷土の魅力を伝える講座」)
  - ③非来館型サービスの周知広報と利便性向上
    - ・県内各地における「移動図書館」の実施による利用者登録の促進及びインターネット予約貸出サービスの周知強化
    - ・WEB利用者登録申請等のWEBによる手続きの推進
  - ④貴重資料等のデジタル化による長期保存対策と利活用の推進
    - ・「デジタルライブラリー」の活用を促進するための学校への周知啓発及び貴重資料の更なるデジタル化の検討
  - ⑤オンラインデータベースの活用の推進
    - ・農業系オンラインデータベース「ルーラル電子図書館」紹介
  - ⑥レファレンスデータベースの充実
    - ・国立国会図書館レファレンス協同データベースの積極的な事例登録及び活用
  - ⑦電子書籍サービスの検討
    - ・電子書籍サービスを開始(R6.11.19)
- (2) 連携・協働によるサービスの充実
  - ①県民や団体等との連携・協働によるサービスの充実
    - ・図書館ボランティアの活動分野を拡大した図書館運営協力サポーター制度の創設・実施
  - ②協働による賑わいづくりを推進するネットワークづくり
    - ・図書館で活動する団体との意見交換会等の実施
  - ③次代に引き継ぐ資料の積極的な寄贈受入れ
    - ・郷土資料・行政資料の効果的な収集のため、新聞・雑誌等を活用した情報収集を行い、県内の学校や企業等に対し積極的な提供を依頼
  - ④ふるさと納税制度や雑誌スポンサー制度を活用した図書館機能の充実
    - ・外部から資金面での協力を得てサービスの充実を図るため、雑誌スポンサー制度の実施
  - ⑤県民のニーズや意見をくみ取る広聴と施設運営
    - ・利用者のニーズ等を把握し図書館運営に活かすため、利用者アンケートの実施